



ほっこう

甲府市立北新小学校
2015. 1. 27
No. 10
発行：校長室

3学期が始まる

明けましておめでとうございます。

皆様おそろいで、新しい年を元気に迎えられたことと思います。

皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

児童一人一人のよさや可能性を引き出し、一人一人の力を伸ばすことができるように、教職員一丸となって努力して参りたいと思います。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、始業式において、代表の子どもたちが3学期の頑張りたいことを発表しました。

1年生：算数と一輪車をがんばりたい。

4年生：あいさつをしっかりする、無言清掃をがんばりたい。

6年生：苦手な教科の算数と理科をがんばりたい。有終の美をかざり、最高の思い出をつくりたい。

3学期は、51日と短い学期ですが、1年間のまとめの学期と次の学年につなげる学期でもあります。相田みつをさんが、こんな詩を書いています。 **根さえ しっかりしていれば / 枝葉は どんなにゆれたって / いいじゃないか / かげにまかせて おけばいい**

しっかりと根を張らせることが大事になってきます。そのためには、今までのことを振り返り、目標をもち、これからの3ヶ月、学習面・生活面でのまとめや次の学年への心の準備の学期にしたいと思います。

新年親子の集い

1月4日（日）に育成会主催の「新年親子の集い」が開催されました。たこ揚げをしたり、羽根つきをしたり、こまをまわしたり、紙飛行機を飛ばしたり、もちつきをしたり、正月遊びを存分に楽しみました。昔と違い遊ぶ場所がなく、できるようでできない遊びばかりです。準備して下さった育成会の方々に感謝申し上げます。荒川の土手でたこ揚げをした半世紀前の出来事をなつかしく感じます。一人遊びではなく、群れて遊ぶ、最高の光景です。来年が楽しみです。



代表委員会

1月14日（水）に第9回代表委員会が開かれました。冬休みの反省や1,2月の生活目標等について話し合われました。1,2月の生活目標は「感謝の気持ちを持って過ごそう」に決まりました。地域の方々をはじめ自分たちのまわりにいるいろいろな方々に、また、校舎にも感謝の気持ちを伝えようということになりました。言葉や行動で感謝の気持ちを伝えます。感謝にあふれた学校になることを期待します。

力作ばかり

書き初め大会を行いました。子どもたちは、心を落ち着かせ、紙に向かい集中して書いていました。一人一人の意気込みが感じられる素晴らしい作品を書き上げました。何事にも全力で取り組む北新の子どもたちに感心します。



玄関に標語が



児童の考えた「あいさつ標語」が玄関に掲示されています。1年：あいさつは いつもげんきに してくれる 2年：あいさつで みんなの心 あふれ出す 3年：あいさつは みんなでできる あいことば 4年：おはようの その一言が 誇らしい 5年：あいさつは 相手の目を見て しっかりと 6年：あいさつは 少しの勇気で いい笑顔 素晴らしい標語がみんなを元気にしてくれています。

みんなちがって みんないい ほかほか言葉のシャワーを

3年生の国語の教科書に次のような詩が載っています。この詩は、それぞれが個性をもっているのだから、お互いにその個性を認め合おうという詩です。

わたしと小鳥とすずと

金子みすゞ

わたしが両手をひろげても、
お空をちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう、
じべた
地面をはやく走れない。

わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう、
たくさんのうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

人は、時として、自分と比べて力の劣りそうな人間に対して、からっかたり、だめなことだと攻撃したりしてしまふことがあります。ひどい時には、その攻撃がだんだんとエスカレートしていき、知らず知らずのうちに相手の心を深く傷つけてしまうことがあります。

一人一人の違いを認め合うことは大切なことと分かっていますが、とても難しいことです。

人には、得意なこと、不得意なことがあります。細かな作業が苦手な人に、強い口調で「もっとはやく！」と、言ったらどうなるでしょうか。それよりも優しい口調で「まだ、時間があるよ」「あせらなくてもいいよ」と言ったら、きっとその人は安心してに違いありません。相手の立場になって考え、共感し、ほかほか言葉をかけていきましょう。